

政務活動費 支出命令書【会派総計】

会派名 次世代長野

7 月分

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費
71,320	96,534		10,000 ✓
広報・広聴費	人件費	事務所費	その他の経費
20,570 ✓			6,698 ✓
合 計			205,122 円

上記について支出を認めます。

令和 6年 8月 10日

代表者名 和田 凌弥

上記の政務活動費について確認しました。

令和 6年 8月 10日

経理担当者名 内藤 武道

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 5日／18日／19日)		
支払先	東日本旅客鉄道株式会社／南海電気鉄道株式会社／阪急電鉄		
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金 額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費	交通費 長野市→福井市→和歌山市→豊中市→長野市 2名分	63,680
	資料作成費	交通費 和歌山市駅→新今宮駅 2名分	1,860
	資料購入費	交通費 大阪梅田駅→岡町駅 2名分	480
	広報・広聴費	交通費 豊中駅→大阪梅田駅 2名分	480
	人件費	※工程表では岡町駅からのところ、豊中駅からの 方が近く料金も変わらなかったため現地で変更	
	事務所費		
	その他の経費		
合 計			66,500 円

(領収書添付欄)

上限 61,960円

鉄道賃の領収書金額合計は、66,500円（1人33,250円）であるが
算定した結果1人30,980円が上限となるため、
政務活動費は上限額61,960円までとし超過分は議員個人の持ち出しとする。

次世代長野 政務活動行政視察(No.1)

福井市 和歌山市 豊中市
 (福井県庁) (和歌山市役所) (豊中市役所)
 JR福井駅 JR和歌山市駅 私鉄 岡町駅
 新大阪→名古屋

令和6年7月17日(水)～7月19日(金)

< 通常期 >

敦賀→新大阪特急サンダーバード

旅費額明細

鉄 道 賃 金	行先	自 長野	福井	敦賀	山科	名古屋	至 長野	運賃	グリーン料金	
	路程	353.2 km	途中下車 km	94.1 km	147.6 km	250.8 km	845.7 km	11,330 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	5,820 円	1,730 円	2,860 円	2,750 円	計 13,160 円	小計 特	24,490 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 山科	新大阪	經由	經由	經由	經由	至 和歌山	運賃	グリーン料金	
	路程	120.6 km	km	km	km	km	120.6 km	2,310 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	1,530 円	円	円	円	計 1,530 円	小計 特	3,840 円	
	新大阪→和歌山特急くろしお	円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 和歌山	經由	經由	經由	經由	經由	至 和歌山市	運賃	グリーン料金	
	路程	3.3 km	km	km	JR在来線 km	3.3 km	190 円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	190 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 和歌山市	經由	經由	經由	經由	經由	至 新今宮	運賃	グリーン料金	
	路程	62.8 km	km	km	km	私鉄 km	62.8 km	930 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	930 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 新今宮	經由	經由	經由	經由	經由	至 大阪	運賃	グリーン料金	
	路程	10.0 km	km	km	JR在来線 km	10.0 km	190 円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	190 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 大阪梅田	經由	經由	經由	經由	經由	至 岡町	運賃	グリーン料金	
	路程	9.5 km	km	km	km	私鉄 km	9.5 km	240 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	240 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 岡町	經由	經由	經由	經由	經由	至 大阪梅田	運賃	グリーン料金	
	路程	9.5 km	km	km	km	私鉄 km	9.5 km	240 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	240 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行先	自 大阪	新大阪	經由	經由	經由	經由	至 山科	運賃	グリーン料金	
	路程	48.3 km	km	km	km	km	48.3 km	860 円	0 円	
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	860 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
鉄道賃の領収書金額合計は、66,500円(一人33,250円)であるが算定した結果1人 30,980円上限となるため、政務活動費は上限額までとなる。								計 特	30,980 円	
								—	0 円	
車賃	自 至							計	円	
	自 至								0 円	
航空賃	自 至			円	自 至		円	計		
	自 至			円	自 至		円		0 円	
日当	定額1日			円			3 日	計 特	0 円	
	定額1日			円			日	—	0 円	
宿泊料	県内・県外	定額・指定1夜	実費(※1泊14,800円上限)				2 夜	計 特	円	
	県内・県外	定額・指定1夜					夜	—	実費 円	
食卓料										
備 考	■ 宿泊料は、一夜 定額14,800円(特別職)を上限とする実費。								合計	
	□ 高級旅費(条例第22条)								特別職	
										30,980 円
									一般職	円
								会計課予備審査処理欄		

領 収 証

長野市議会 次世代長野 様

2024年 7月 5日

金63,680円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野801 No.000030

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渡 谷
税 務 署 承 認 済

領収証		230-083770
次世代長野 様		
領収日	2024.7.18 15:44	
領収額	¥1,860-	
購入商品	乗車券類 2枚	
支払方法	現金	
南海電気鉄道株式会社		
和歌山市33		

領 収 書	
取扱日時	2024/07/19 08:53
取扱売場	大阪梅田204
次世代長野	
取引内容	普通券購入
支払方法	現金(480円) 大人2名 x2
伝票番号	326048
お買上額	480円
:この領収書は大切に保管して下さい :ご利用ありがとうございます	
阪急電鉄	

領 収 書	
取扱日時	2024/07/19 11:39
取扱売場	豊 中 102
次世代長野	
取引内容	普通券購入
支払方法	現金(480円) 大人2名 x2
伝票番号	454692
お買上額	480円
:この領収書は大切に保管して下さい :ご利用ありがとうございます	
阪急電鉄	



領 収 証

長野市議会 次世代長野 様

2024年 7月 5日

金63,680円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野801 No.000030

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収証		230-083770
次世代長野 様		
領収日	2024-7-18 15:44	
領収額	¥1,860-	
購入商品	乗車券類	
	2枚	
支払方法	現金	
南海電気鉄道株式会社		
和歌山市33		

領 収 書	
取扱日時	2024/07/19 08:53
取扱売場	大阪梅田204
次世代長野	
取引内容	普通券購入
支払方法	現金(480円)大人240x2
伝票番号	326048
お買上額	480円
:この領収書は大切に保管して下さい :ご利用ありがとうございます	
阪急電鉄	

領 収 書	
取扱日時	2024/07/19 11:39
取扱売場	豊 中 102
次世代長野	
取引内容	普通券購入
支払方法	現金(480円)大人240x2
伝票番号	454692
お買上額	480円
:この領収書は大切に保管して下さい :ご利用ありがとうございます	
阪急電鉄	

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 17日			
支払先	株式会社東横イン			
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)			円
	研究研修費			
	調査旅費	宿泊費	東横インJR和歌山駅東口 2部屋分	17,550
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計			17,550 円	
(領収書添付欄)				



領収書

次世代長野

領収金額 ¥8,550

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆ (会員のため
45%割引)

2024/07/17 宿泊料 ¥8,550

10%対象 ¥8,550 (内 消費税額 ¥777)

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥8,550

お部屋番号: 1001

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
クレジットカード決済ですぐ払い引き!!
予約はこちらtoyoko-inn.com



東横INN JR和歌山駅東口
TEL:073-476-1045 FAX:073-476-1046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010801008367 2024/07/17 18:38
取引番号:2240741501

クレジットカードご利用明細

カード種別:IC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:3752
カード会社: 有効期限:XX/XX
会員番号: 決済方法:クレジットカード決済
AID:A0000000651010
ATC:0005 カードシリアル番号:0
製造番号:000310224537112 結果コード:000
お支払総計:¥8,550 取引ID:



領収書

次世代長野

領収金額 ¥9,000

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆

2024/07/17 宿泊料 ¥9,000

10%対象 ¥9,000 (内 消費税額 ¥818)

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥9,000

お部屋番号: 701

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
クレジットカード決済ですぐ払い引き!!
予約はこちらtoyoko-inn.com



東横INN JR和歌山駅東口
TEL:073-476-1045 FAX:073-476-1046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010801008365 2024/07/17 18:41
取引番号:2240741503

クレジットカードご利用明細

カード種別:IC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:3753
カード会社: 有効期限:XX/XX
会員番号: 決済方法:クレジットカード決済
AID:A0000000651010
ATC:0006 カードシリアル番号:0
製造番号:000310224537112 結果コード:000
お支払総計:¥9,000 取引ID:



toyoko inn

領収書

次世代長野

領収金額 ¥8,550

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆ (会員のため
450円割引)

2024/07/17 宿泊料 ¥8,550

10%対象 ¥8,550 (内消費税額 ¥777)

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥8,550

お部屋番号: 1001

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
クレジットカード決済ですすいフェイティ!!
予約はこちらtoyoko-inn.com



東横INN JR和歌山駅東口
TEL:073-476-1045 FAX:073-476-1046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010801008365
取引番号:2240741501 2024/07/17 18:38

クレジットカードご利用明細

カード種別:IC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:3752
カード会社: 有効期限:XX/XX
会員番号:
決済方法:クレジットカード決済
AID:A0000000651010
ATC:0005 カードシリアル番号:0
製造番号:000310224537112 結果コード:000
お支払総計:¥8,550 取引ID



toyoko inn

領収書

次世代長野

領収金額 ¥9,000

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆

2024/07/17 宿泊料 ¥9,000

10%対象 ¥9,000 (内消費税額 ¥818)

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥9,000

お部屋番号: 701

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
クレジットカード決済ですすいフェイティ!!
予約はこちらtoyoko-inn.com



東横INN JR和歌山駅東口
TEL:073-476-1045 FAX:073-476-1046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010801008365
取引番号:2240741503 2024/07/17 18:41

クレジットカードご利用明細

カード種別:IC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:3753
カード会社: 有効期限:XX/XX
会員番号:
決済方法:クレジットカード決済
AID:A0000000651010
ATC:0006 カードシリアル番号:0
製造番号:000310224537112 結果コード:000
お支払総計:¥9,000 取引ID

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 18日			
支払先	ネストホテル大阪梅田			
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)			円
	研究研修費			
	調査旅費	宿泊費	ネストホテル大阪梅田 2部屋分	16,024
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計			16,024 円	
(領収書添付欄)				

明細書

NEST HOTEL

OSAKA UMEIDA

ネストホテル大阪梅田

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町2-15

TEL : 06-6485-8860 FAX : 06-6485-8861

登録番号 T3010001151796

お部屋番号
ROOM No.

1102

お名前
NAME

次世代長野様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2024/07/18	2024/07/19	1	2024/07/18	

日付 DATE	お部屋 ROOM	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	備考 REMARKS
07/18	1102	ご宿泊代	7,912		
07/18	1102	宿泊税100円	100		
		課税対象外	¥100		
		10%対象	¥7,912		
		(内消費税	¥719)		

	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
総合計 TOTAL	8,012	0	8,012	0

なお、お勘定には消費税が加算されております。

Tax are added to your bill.

※印がついている商品は軽減税率対象となります。

ご署名
SIGNATURE307991-DP 2509
OTEL038
002ご住所
ADDRESS会社名
ADDRESS

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

Thank you for patronage. We look forward to serving you again.

1/1

NEST HOTEL

OSAKA UMEIDA

領収書

RECEIPT

CREDIT

307991-DP 2509
OTEL038
002

次世代長野様

¥8,012-

課税対象外
10%対象
(内消費税¥100
¥7,912
¥719)印
紙

発行日 2024/07/18

ネストホテル大阪梅田

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町2-15

TEL : 06-6485-8860 FAX : 06-6485-8861

登録番号 T3010001151796

上記の金額正に領収いたしました。

明細書

NEST HOTEL

OSAKA UMEDA

お部屋番号
ROOM No.

609

お名前
NAME

次世代長野様

ネストホテル大阪梅田

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町2-15

TEL : 06-6485-8860 FAX : 06-6485-8861

登録番号 T3010001151796

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2024/07/18	2024/07/19	1	2024/07/18	

日付 DATE	お部屋 ROOM	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	備考 REMARKS
07/18	609	ご宿泊代	7,912		
07/18	609	宿泊税100円	100		
		課税対象外	¥100		
		10%対象	¥7,912		
		(内消費税	¥719)		

	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
総合計 TOTAL	8,012	0	8,012	0

なお、お勘定には消費税が加算されております。
Tax are added to your bill.
※印がついている商品は軽減税率対象となります。

ご署名
SIGNATUREご住所
ADDRESS会社名
ADDRESS307992-DP 2438
OTEL039
002

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。

Thank you for patronage. We look forward to serving you again.

1/1

NEST HOTEL

OSAKA UMEDA

領収書

RECEIPT

CREDIT

307992-DP 2438
OTEL039
002

次世代長野様

¥8,012-

課税対象外
10%対象
(内消費税¥100
¥7,912
¥719)印
紙

発行日 2024/07/18

ネストホテル大阪梅田

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町2-15

TEL : 06-6485-8860 FAX : 06-6485-8861

登録番号 T3010001151796

上記の金額正に領収いたしました。

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 17日		
支払先	Bearnyn		
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金 額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費		
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費	土産代 視察先自治体職員へ(三カ所)	6,698
合 計			6,698 円

(領収書添付欄)

2024年 7月17日(水)

領 収 証

次世代長野

様

¥6,698-

上記正に領収しました(消費税等 ¥496-を含みます)
Bearnyn TEL026-268-0665
長野県長野市南千歳1-22-6
ステーションビルMIDORI 2F
登録番号 T:7100002000246
※保管上のお願い
財布等で保管載く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

信計1 (消費税等 ¥6,698- ¥496-を含みます)

2024年 7月17日(水) 9:07 No:0004)

4536477000169
0001そばの華 8袋入
単1,372× 2個 軽 ¥2,744
4536477000121
0001そばの華 12袋
単1,977× 2個 軽 ¥3,954
小 計 ¥6,698
内税8%対象 8.00% ¥6,698
内税8%税 8.00% ¥496
合 計 ¥6,698
(内消費税等 ¥496)

0004-1594-2210

※軽印は軽減税率8%適用商品です
登録番号 T:7100002000246

責No:00000015: 取引No2209 4点買

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 17日		
支払先	Bearnny		
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金 額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費		
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費	土産代 視察先自治体職員へ(三カ所)	6,698
合 計			6,698 円

(領収書添付欄)

2024年 7月17日(水)

領 収 証

次世代長野

様

¥6,698-

記正に領収しました(消費税等 ¥496-を含みます)
Bearnny TEL026-268-0665
長野県長野市南千歳1-22-6
ステーションビルMIDORI 2F
登録番号 T:7100002000246
※保管上のご願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

信計1 (消費税等 ¥6,698- ¥496-を含みます)

2024年 7月17日(水) 9:07 No:0004)

4536477000169
0001そばの華 8袋入
単1,372× 2個 軽 ¥2,744
4536477000121
0001そばの華 12袋
単1,977× 2個 軽 ¥3,954
小 計 ¥6,698
内税8%対象 8.00% ¥6,698
内税8%税 8.00% ¥496
合 計 ¥6,698
(内消費税等 ¥496)

0004-1594-2210

※軽印は軽減税率8%適用商品です
登録番号 T:7100002000246

責No:00000015: 取引No2209 4点買

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 19日		
支払先	駒姫タクシー株式会社豊中		
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金 額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費	交通費 豊中市役所→はぐくみセンター タクシー1台	1,000
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費		
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費		
合 計			1,000 円

(領収書添付欄)

次世代長野

領 収 書

(ネット/QR決済支払)

No.0006

日付 '24年07月19日 11:07

車番 2589 800

運賃料金計 ¥1000円

合計金額 ¥1000円

消費税率 10%

毎度ご乗車

ありがとうございます

駒姫タクシー株式会社豊中

登録番号

T3120001030650

大阪府豊中市服部寿町

3-15-7

TEL 06-6862-1603

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名

次世代長野

7 月分

支払日	令和 6年 7月 19日		
支払先	駒姫タクシー株式会社豊中		
活動に要 した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金 額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費	交通費 豊中市役所→はぐくみセンター タクシー1台	1,000
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費		
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費		
合 計			1,000 円

(領収書添付欄)

次世代長野

領 収 書

(ネット/QR決済支払)

No.0006

日付 '24年07月19日 11:07

車番 2589 800

運賃料金計 ￥1000円

合計金額 ￥1000円

消費税率10%

毎度ご乗車

ありがとうございます

駒姫タクシー株式会社豊中

登録番号

T3120001030650

大阪府豊中市服部寿町

3-15-7

TEL 06-6862-1603

◇ 視察報告書 ◇

◆視察先

福井県

◆取り組み

新ふくい人プロジェクト(移住定住施策)

◆概要

福井県の移住定住施策において、2008年の若年層（20～40代）の移住希望者は約3割だったが、2023年には約7割となり、移住希望者層がシニアから若者にシフトしている。移住者の数は平成19年の170人から右肩上がりが増加し、令和5年には1,361人と過去最高を更新した。令和5年の移住世帯数は768世帯であり、そのうちの7割がIターン世帯である。

他自治体と比較して特徴的な施策として、「**都会が嫉妬する県**」をデザインコンセプトに掲げ、“福井”を前面に出さずに福井県の生活環境の良さをPRするポスターを制作。また、年末年始の約1か月に東京圏在住の25～44歳にウェブ広告を表示し、そのクリック率から移住促進の訴求内容の有効性を検証している。さらに、移住に向けた下見や就職活動などの現地活動を行うため、県外から来県する人や世帯に対して移動費の一部を支給する「**交通費助成**」制度を導入している。

また「地域おこし協力隊」とは別に、「人が人を呼ぶ」移住戦略の一環として45名の**移住サポーター**を委嘱し、現地案内や移住者交流会などを実施し、移住促進・定着支援を行っている。この移住サポーターは移住者から構成されており、地域活動に積極的に参加している。また、若者のものづくりへの関心が高いことから、地区のものづくり企業や工房での企業見学や就業体験、職人との交流会を令和6年に2回開催し、学生や社会人が参加している。

◆考察

北陸新幹線が敦賀まで延伸し、東京圏からのアクセスが容易になったことで、今後さらに移住者に対する支援が手厚くなることを実感しています。移住施策は都市部の子育て家族に特化したものが多く、例えば、家族で1～3週間ほどの長期滞在に対する補助金や、2人目以降の子どもや多胎児の保育料を無償化する「**子たくさんふくいプロジェクト**」、県立・私立高校の授業料無償化範囲の拡大があります。また、「**ふく育さん**」事業として福井県独自のベビーシッター制度による一時保育や家事サポート、「**ふく育タクシー**」事業として妊婦や親子向けに所定の研修を修了したドライバーが荷物の介助や乗降のサポート、チャイルドシートの装着など外出を支援するタクシー事業など、子育て世帯に対する支援が充実しています。これらの取り組みが、**幸福度5回連続全国1位**の理由であり、移住者が増加している要因だと感じています。

移住支援サポーターについては大変稀有な取り組みであり、行政でもなく地元すぎない立場としての地

域の案内や相談は、利用者に安心感と継続的移住の効果に役立っていると感じる。ただ移住者を増やすことに注視しているのではなく、ふくいでの生活・生き方に合っている希望者に寄り添い、着実に進めることで、過大広告的ではない成果の出方と、県民幸福度に繋がっている。

◆視察先

和歌山県和歌山市

◆取り組み

学生支援プロジェクト

◆概要

人口 35 万人（17.7 世帯）当初予算規模 2,878 億円

人口減少課題について、まちなかの児童生徒数が 60 年前と比べると 1/9 に減少し、若年層においては進学就職を契機に県外に流出していく割合が多く、また医療人材の不足も挙げられていた。まちなかエリアの児童生徒数の減少で、小中一貫校開校への集約化に伴い、4 つの小中学校が閉校される。この跡地の有効活用が重要課題とされた。高校生の県外大学への進学や、卒業後も地元を離れて就職しているという課題と、閉校した小中学校の跡地利用という課題、さらに医療系の人材不足という 3 つの課題について組み合わせ同時に解決する政策として、（特に医療系の）**大学誘致**を行った。

まずは都市部の大学のサテライトキャンパスとして誘致を進め、学校の建物を譲渡し改修の補助を設け、固定資産税相当の土地代は支払うという条件で話を進めた。学校が閉校して 2 年後には 1 つの大学キャンパス東京医療保健大学看護学部が誘致に成功した。その後も市内の学校法人に促し、教育系（保育幼稚園小学校教諭資格）の和歌山信愛大学教育学部、県立大学の新学部設置として和歌山県立医科大学薬学部、学校跡地ではないが、県病院協会看護専門学校の老朽化による解体の機会と、事業承継を受けた法人による新学部開設を行った宝塚医療大学リハビリテーション学科と看護学科、さらに専門学校の発展的閉校に新しく創設された和歌山リハビリテーション専門職大学と、**5 大学**が開設・開学した。

それによる効果としては、誘致大学の就職者のうち県内就職率が 84.1% と上昇した。これは県内に就職した学生に関しては奨学金の補助制度を設けた点も、県内就職率の向上に繋がったと分析できる。

また地域に学生が増えたことに乗じて**地域連携**を進めることにより、地域貢献と地元愛（シビックプライド）の醸成に努め活動を展開している。事例を列挙するに、市民への公開講座・災害対応訓練・県下高校との教育交流・地域課題への学び・自治会などと連携した学園祭・商店街の活性化プロジェクト・校舎の一部をイベント開放と、誘致の際の取り決めとして地域連携を重要視したことにより地域に根差した学園活動が積極的に行われている。

そのうえで、学生支援プロジェクトについて。市役所隣の市民ホールについてその有効活用を学生にも訴える中で、市長が和歌山城ホールを学生の拠点化することを掲げ、様々な企画を学生に行ってもらえるよう促している。第 1 回は学生フリーマーケットや模擬授業体験・対面進学ガイダンスを行った。第 2

回ではコロナ禍で沈んだ学生サークル活動を盛り上げるために、コンサートホールに演奏会を実施し、多くの市民が訪れた。第3回ではワークショップや地学地就ガイダンスを開き、高校生や中学生に対して和歌山市が進学就職のバックアップを行った。第4回では高校生のキャリア教育と、市内の大学のさらなる認知度向上を目指し、大学生による出張ワークショップを行うことを計画している。

総じて、市外県外への学生流出を食い止めるために、中高生や現役大学生へのバックアップやシビックプライドの向上を行い、また地元で活躍してもらえる人材を育成する。そのために大学誘致や学生支援プロジェクトを通じて、きっかけを増やし社会課題解決に繋げている。

予算 大学誘致にはかかったが、プロジェクト自体は予算0円

課題 類似学部による学生の取り合い、紀中南地域学生の紀北集中化、山間地大学とのまちなか連携

◆考察

学生の支援プロジェクトを行政が身を乗り出して行っている事例として視察をしたのだが、支援の前にまずは市内県内の学生の進学について、市内に魅力的かつ選択肢として考えられる大学や学部を誘致し、市内県内から学生を都市部に流出させないという取り組みを行っていたという点が、実際に説明を聞かなければわからなかった情報で、直接話を聞けて有意義であった。

大阪京都など大都市に近いことで、和歌山県は高校生の県外進学率が例年全国ワースト1であったが、今回の大学誘致の取り組みにより徐々にだが確実に効果があり、ワースト1からの脱却が成果として表れた。

学生支援プロジェクトとしては、学生の進学の際に都市部の大学ばかりでなく、和歌山市内の大学に目を向けてもらえるよう積極的にアピールの機会を設け、学生の市外県外流出を食い止めようとしている。また市内の大学生(高校生)について、**和歌山城ホールの学生拠点化**をうち出し、イベント会場として賑わい場としての利用を進めており大変興味深い取り組みだと感じた。

◆視察先

和歌山県和歌山市

◆取り組み

和歌山市民図書館

◆概要

「本と、人と、まちをつなぐ」をコンセプトに、知・情報・交流・くつろぎの拠点として和歌山市民図書館が開館しました。この図書館は、“本”と“人”と“まち”を繋ぎ、訪れる人々のライフスタイルをより豊かにする新たな拠点となっています。旧市民図書館は昭和56年7月に開館し、施設の老朽化や耐震改修が必要な状態でした。また、蔵書の収蔵能力が限界を超え、新たな書架を設置するスペースがなく、市民が利用する閲覧席が少ない、児童室が狭い、情報交換のための交流スペースや自習席が不足してしまし

た。さらに、最寄り駅の南海和歌山市駅から約 500m 離れ、歩道 の夜間照明が暗く、子どもの安全や高齢化社会に対応したアクセスが不十分でした。これらの課題を解決するため、和歌山市と南海電鉄は市駅ビルの建て替えを市街地再 開発事業により実施し、市民図書館の市駅ビルへの移転を行う和歌山市駅活性化構想を平成 27 年 5 月に発表、令和 2 年 6 月 5 日に商業棟とともにグランドオープンしました。和歌山市民図書館の基本計画として、利用統計、アンケート調査、聞き取り調査、ワークショップを行い、見えてきた課題やニーズを分析しました。これに基づき、和歌山市民図書館基本計画を策定しました。指定管理者制度を導入し、人員体制の効率化や経費の削減、行政が持たない高度な専門知識や技術を確保し、サービスの向上につなげています。指定管理者の募集にあたっては、「まちづくりの核として機能する和歌山市の新たな文化教養、賑わいの拠点」が新しい図書館のイメージでした。指定管理者はカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社であり、指定管理料は令和元年度が 166,972 千円、令和 2～5 年度は各 333,750 千円となっています。1 階には一般図書、カフェテリア、書店エリア、観光案内、物産販売、2 階には一般図書、ライフスタイルジャンル、有吉佐和子文庫、ティーンズ、多目的ルーム、3 階には一般図書、レファレンス、郷土資料、移民資料室、学習室、4 階には子ども図書館、プレイスペース、地域子育て支援拠点施設があり、屋上には芝生広場、テラス席があります。平成 30 年度の旧図書館の来館者数は年間 171,339 人でしたが、新図書館になった令和 2 年度には 663,496 人、令和 5 年度には 795,294 人となっています。

◆考察

「貸出型図書館」から「滞在型図書館」へ変化し、その違いが利用者の差に大きく現れている。館内にはポスターなどが一切掲示されて無く、デジタルサイネージが使用され、ゆっくりくつろげる空間となっていた。自習室の利用についても方法は掲示しておらず、空間によって利用者が独自に判断し、PC や計算機の使用が可能なスペース、学習に専念するスペースなど行動心理学を活用した空間づくりとなっていた。一方で暗黙のルールとなってしまう、初めての利用者と頻繁に利用する方とのトラブルが発生することもある。

印象として「通いたくなる、おすすめしたくなる、楽しめる図書館」と感じた。それぞれの世代や属性と利用目的に沿った配慮が行き届いた設計になっている。平日昼間であつたが利用者が多く、居場所としての公共施設の機能を果たしていた。

施設内の理にかなった構図や、清潔度や明るさなどからくる施設全体の雰囲気が大変心地よく、近年盛り上がりのある「図書館によるまちづくり」を体現している施設だと感じた。一方本市の図書館については蔵書数や利用率については一定の評価はできるものの、市民が居心地よくいられる場所としての機能は十分に果たしているとは言えないので、今一度あり方を検討する必要があると考える。

◆視察先

大阪府豊中市

◆取り組み

豊中市はぐくみセンター(こども家庭センター)

◆概要

人口規模 40万人(児童人口6.5万人)

乳児家庭全戸訪問事業は3000件弱、子育て短期支援(ショートステイ)事業は200件程度、児童虐待相談対応件数は2000件強、子ども総合相談窓口は4500件という状況。

こども家庭センターの概要について、令和5年度の法施行に先駆けてセンターを始動している。ポイントとしては「児童福祉・母子保健・教育・障害児支援の包括的相談支援体制の構築」「一人ひとりのニーズに応じ、確実に支援を提供」「こどもの居場所のネットワーク構築、支援が必要なこどもに過ごす場・支える場を提供」を掲げている。

「切れ目のない相談支援」を目指して、ポピュレーションアプローチとして相談窓口を広く取り、そこから発生予防と早期発見/対応を進める。その中でも特に深刻なケースにおいてはハイリスクアプローチを行う。ライフステージに合った相談を受けサポートできるよう対応している。

はぐくみセンターの運営構造としては、子ども総合相談窓口を中心に、市内各施設の子育てサービスに繋げ、虐待など個別で集中的な支援が必要な場合は教育/保険/子育てなど関係機関と連携をとりその案件ごと「サポートプラン」の作成とその実行を進めている。

またシステム面では、各機関がスムーズに連携できるよう、こども安心課/こども支援課/児童生徒課/母子保健関係の相談記録をまとめ、**情報の一元管理**しサポートプランの共有を行い、電子決裁も可能にしている。(ただし取扱注意の連携情報の閲覧については緊急必要性に応じ全課係長以上の職員に限定している。)

地域の子育て支援拠点の充実も目指し、中学校区単位でひろばやサロンを設け、質・量・種類を確保することで、支援サービスの利用しやすさを向上させている。

はぐくみセンターでは子どもの育ちに関わる機関を集約し、児童福祉・母子健康・教育・障害児支援など多様で効果的な支援を展開できるよう設置している。そこで受理した相談において特に危険性や緊急性を要するものにおいてはすぐさま担当課で整理の上、サポートプラン作成か否か、また作成となった際の実際の介入まで迅速に組まれており、3か月ごとの見直しも行い、解決のため各課が連携し協力体制を構築している。

就学時に関しては学校と児童生徒課とはぐくみセンター三位一体で情報の共有と、はぐくみセンターからのサポートプランによる支援方針の助言などで、支援が必要な児童生徒の把握から対応までを用意している。

予算 R5:1,872,317千円、R4:1,329,888千円(投資的経費を除く)

人員 開設にあたり増減はなし(併設する新規児童相談所開設のために追加はあり)

課題 支援メニューの拡大、専門職員の人材育成

◆考察

情報の一元管理体制をしくことで、担当課間のスムーズな連携と、役所特有の煩わしさ解消に努めている点は、情報の管理と住民福祉向上のために大変参考になる。

地域の子育て支援センターを充実させることで、そこで住民同士や行政とつながりがもてるからこそ、そこで上がる様々な相談ごとに早期に対応でき、子育ての不安や負担を軽減に役立てている。

はぐくみセンターでは子どもの広場や親の相談室などを用意していることによって、その場を使用すると同時に、行政側は子育てで抱えている不安や問題を気軽に聞き取れる形になっている、また関係機関が設置されていることですぐに相談対応ができ、早期発見や指導助言に繋がっているということで、大変スマートな仕組みといえる。

事例にあるように、複数課による**総合的な支援**が子どものため家庭のため問題解決のカギとなるため、情報共有と支援計画の作成から責任を持っており、目標のために進める組織が整っていると感じた。本市においても特に緊急性がみられるケースなど個別対応を迫られるものは、専門機関との情報共有と包括的な支援ができるよう運営を注視していく。